

## GA一回処理による大粒種ブドウの省力・高品質化

大粒種ブドウの無核栽培を対象として、フルメット液剤を開花初期に、GAに加用し花穂浸漬処理することにより、慣行のGA2回処理を一回で済ますことができ、省力的でしかも高品質果実生産も可能となる技術です。

### GA一回処理の方法

紫玉（8年生 テレキ5BB台 H型短梢せん定）を供試し、開花期に新梢長がそろった花穂に各区20花房ずつフルメット液剤、ストレプトマイシン剤を混用してGA浸漬処理した。

処理区	GA濃度(ppm)	フルメット濃度(ppm)	ストレプトマイシン加用濃度(ppm)	処理時期
F10+3日	25	10	200	満開3日後
F10+5日	25	10	200	満開5日後
F10+7日	25	10	200	満開7日後
F15+5日	25	15	200	満開5日後
慣行区	12.5+25	10	200	満開日+満開10日後

### 効果の概要

フルメット10ppm加用の満開7日後処理ならびにフルメット15ppm加用の満開5日後処理で一粒重は慣行区を上回った。完全種子が入った有核果粒率は慣行栽培と同等であるが、GA一回処理によりしいなが増える傾向がある。果皮色ならびに糖度は慣行区に劣るものの、経済販売には十分な品質と考える。

処理区	果房重(g)	一粒重(%)	有核果粒率(%)	種子/粒(%)	しいな/粒(%)	果皮色(カラーチャート)	糖度(%)	酸(%)
F10+3日	308.3	9.3	2	2	2	9.1	18.4	0.65
F10+5日	296.0	9.3	2	2	9	8.6	18.3	0.66
F10+7日	307.6	10.8	3	3	19	8.7	18.4	0.65
F15+5日	321.8	9.9	1	2	20	8.7	18.0	0.67
慣行区	311.0	9.6	3	3	0	9.2	19.9	0.58

紫玉については、GA一回処理により果粒の横肥大が旺盛となり、巨峰並みの果粒がつくれ、また果軸長も短くなることから、密着円筒形の果房が容易につくることができる。

